



京都部 部長主題	仲間を増やそう Make more friends	京都部部長 武村松一 (京都ウイング)
西日本区 理事 主題 スローガン	未来に灯そう(ともそう)希望の光 "Let's illuminate the light of hope for the future" 互いに認め合おう 世界の友と "Let's recognize each other with our friends from all over the world"	西日本区理事 深谷 聡 (名古屋)
国際会長 主題 スローガン	"Let Your Light Shine" 「輝かそう、あなたの光を」 "Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation" 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」	国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (デンマーク)
アジア太平洋国際地域 会長 主題 スローガン	"Be the light for change" 「変革のための光となろう」 "Shine and empower through fellowship" 「親睦を通じて輝き、力を得よう」	アジア太平洋地域会長 (IP) 利根川 恵子 (東日本区 川越)

## 半年間は長いのか短いのか？

まず最初に、この半年間にお世話になった皆様へ心よりお礼申し上げます。関わっていただきました全員のおかげをもちまして、半年という期間を充実した中で過ごせましたこと、感謝以外の言葉が見つかりません。ありがとうございます。表題の疑問の答えは、この愚文を最後まで読んでいただいた方のご判断にお任せしたいと思います。

さて、6月末に開催させていただきました京都部評議会において京都部部旗を引き継がせていただきました。その前の西日本区大会にて、舞台上で部長引継ぎ式をしていただきましたが、その時は大勢の人の登壇で、別に「緊張」ということはなかったのですが、部旗引継ぎにの時には「緊張」はしましたが「不安」のほうが大きかったです。一年間重責を全うできるのか？不信任を出されはしまいか？なんてことを始終考えておりました。しかし、しかしです！京都部のキャビネット・役員・各クラブ会長の多大なるご協力があり、何とか半年を過ごせました。この間、7月からの部長公式訪問や9月からスタートしました西日本区各部会への参加など、多くの「仲間」と時間を共に出来たことは、何よりのプレゼントとなりました。その中でやはり「京都部部会」のことに触れていこうと思います。この部会においても、佐々木実行委員長をはじめとする委員の皆さん、ウイングのメンバーや各クラブの会長のご協力により、厳粛且つ盛大に行うことが出来ました。遠方より参加いただいた「仲間」にもこの場をお借りしてお礼申し上げます。最後の私のつたない舞台もご覧いただき、合せて感謝いたします。ありがとうございます。

次に11月の開催いたしましたワイズデーですが、これも京都市動物園の元園長の秋久ワイズはじめZEROクラブの多大なるご尽力により盛大に開催することができ、また猿山に入つての写真撮影という珍しく貴重な経験をする事が出来ました。京都部以外からも多数の参加をいただき、ここでも多くの「仲間」と触れ合えたことに心より感謝いたします。今期前半は、リトリートセンター秋期開設ワークやオータムフェスタ・YMCAチャリティーランなど、西日本区関連の行事で参加できなかったことは大いに反省しなければなりません。しかし「部長ごとき」が不参加でも、やはり「仲間」の活躍によりすべてにおいて成功裏に終わることができています。このことは京都部の財産であり誇りに思っています。これから後半にもCSチャリティーボウリングやYYYフォーラム・チャリティーゴルフなど様々な行事があります。ただ、私は何の心配もしていません。この素晴らしい「仲間」達によって支えられているから。あと半年、頑張りますよ〜。



京都部部長 武村 松一  
(京都ウイングワイズメンズクラブ)

## ■上半期を終えて 部役員



次期部長 山下 大輔  
京都トップスワイズメンズクラブ

年始早々に嫌なニュースが飛び込んで参りまして、この度の地震の事心よりお見舞い、お悔やみ申し上げます。1日も早く復興される事を願っています。

さて、上半期が終わりまして今期京都部の中に入れて頂き色々な事を考えさせて頂いております。今期の現状を含め来期の準備に取り掛かる次第です！

今期の京都部会、ワイズデーも成功に終わり来期のプレッシャーが半端なく押し寄せております。

各クラブさんに付きましては、色々な事業に取り組まれており素晴らしい事だと感じております。

来期に向けてもより一層頑張ってもらいたい次第です！

次期部長としてどのような形でワイズメンズクラブを盛り上げて行けるか試行錯誤して進めて参りますので皆様のお力添え宜しくお願い申し上げます！

あと、下半期になりましたが、まだまだ色々な事業が御座いますのでご尽力の程宜しくお願い致します。



直前部長 石倉 尚  
京都キャピタルワイズメンズクラブ

「仲間を増やそう」の部長主題のもと、順調に仲間が増えつつあり、主だった部の事業も順調に推移しています。ご多用であった武村部長をはじめ主査、委員長の皆様お疲れ様でした。あと半期、頑張っていきましょう！

昨年も同様であった次々期部長の選出に今期も大変苦慮しています。昨年に輪番制のルールを策定した訳ですが、本来の輪番制の意味を改めて考えなければと思います。私たちワイズメンのモットーに「強い義務感を持とう」とあります。強い義務感とは何でしょう？クラブ内での自分の立ち位置や部や西日本区でのクラブの立ち位置を自覚することではないでしょうか。

今、自分は何を求められているのか、クラブは何を求められているのかを自覚し、行動することだと思います。私たち一人ひとりが強い義務感を持ち、今何をすべきかを自覚することでより良いクラブ、よりよい京都部に発展すると思います。

あと半期、強い義務感で己を鼓舞し大いに活動し、悔いのないワイズライフを楽しみましょう。





監事 **中村 隆司**  
京都ウェルワイズメンズクラブ

京都部の皆さん、ワイズを楽しんでいますか！？今期は改めてワイズにとっての親睦交流の楽しさや大切さを実感しております。今までもワイズの先輩方たちから何回も「ワイズの醍醐味は親睦交流やで」とお聞きしてきました。そして私の部長期2年間の間にも、行く先々で何度も何度も皆様にお伝えさせて頂きました。

過去に務めさせて頂いた2回の会長期、そして2回の部長期、勿論全力で親睦交流を楽しませて頂きましたが、コロナ禍の影響等もありちょっと不完全燃焼な所がありました。ですがコロナ禍も落ち着き、今期は過去最高レベルで親睦交流を楽しませて頂いており、やっぱりワイズって良いな～、ワイズって楽しいな～って凄く感じております。勿論出向いて行けば出向いて行くほどお金も時間も費やしてしまい、仕事も大変ですし休息する時間も無くなりプライベートの時間や趣味の時間も無くなってしまいます。ですがそれら全てにおいてもかえ難い魅力がワイズにはあります。ワイズに入っていなければお知り合いになる事が無いような職業の方たちとも仲良くなり、交流を楽しむだけでは無く色々な情報交換等も出来、またそれらを活かして世界観であったり価値観も広がり仕事や自己研鑽にも繋がります。そして何よりも入会した時点で京都部約500名の皆さんと、西日本区約1300名の皆さんとお友達になれ、更には日本中のワイズの皆さんや世界中のワイズの皆さんともお友達になります。これって凄い事ですよ、まさしくワイズならではの特権ですよ。ただ自分自身がアクションを起こさなければ何も起こりません。さあ皆さん、積極的に出向いて行きましょう！私はワイズの友情であったり絆を、幸いなことに沢山頂いております。一生の宝です。ワイズの友達是一生の友達です！



統括担当主事 **藤尾 実**  
京都 YMCA

昨年7月に始まったワイズメンズクラブ京都部武村部長期も上半期が過ぎました。今期の部長標語として「仲間を増やそう」を挙げ、その中で、メンバーを増やし、京都YMCA会員・リーダー・職員と共に学び、行動し、発信し続け、共に成長していくことができれば、究極の「YMCA サービス事業」につながっていく述べられていました。9月開催のワイズメンズクラブ京都部部会では、「YMCA リーダー増強」「リトリートセンター支援」について、京都部全クラブでディスカッションして、YMCA 支援を検討する機会を持っていただきました。また、リトリートセンターの維持管理ワーク、YMCAの各種寄付金へのご協力など、京都YMCAの諸活動に多大なご支援をいただき感謝申し上げます。現在、京都YMCAでは、「地域から必要とされる存在になる」ため、既存事業の見直しと改革を進めています。その取り組みを、ワイズメンズクラブメンバーのみなさんと共にすすめてまいりたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



書記 **谷口 豊**  
京都ウイングワイズメンズクラブ

第28期京都部の武村部長期も半期が過ぎました。上半期は、各事業懇談会、京都部会、メネットの集い、ワイズデー、YMCA事業など多くの行事が開催されました。それぞれの行事を企画担当していただいた主査ならびにそのクラブの方々の尽力のおかげで無事終えることができ感謝申し上げます。上半期の山場となる京都部会とワイズデーに多数ご参加いただきありがとうございました。特にワイズデーは山田主査ならびにZEROクラブの方々に引っ張っていただき京都部各クラブを巻き込んで500名を超える登録人数となり盛大に行うことができました。ともに京都部のパワーを実感しました。京都部は上半期も順調にメンバーが増加しており、武村部長主題の「仲間を増やそう」を実践して下半期もますますメンバーが増えることを祈っております。下半期もどうぞよろしくお願いたします。



**書記 西野 健次**  
京都ウイングワイズメンズクラブ

今期、京都部書記を拝命し、頑張ろうと一念発起してワイズライフに新しい気付きを求め臨みました。しかし、実際には今まで YMCA とワイズメンズクラブの仕組みや方針、ものの進め方などに無頓着のまま過ぎて来たワイズ活動だったので、右も左もわからず、更にもっと言えば話し合われている事の理解さえできず、ただただ座って、記録しているだけでした。しかし武村部長はじめキャビネットのメンバー、そして役員会では各事業主查の皆さんや直前部長、次期部長、監事、統括担当主事の報告やコメント、意見交換を記録していく中で、ワイズメンズクラブと言うものが少しずつわかって来たような気がします。京都部役員会として見るワイズメンズクラブの景色は今まで私が見ていたワイズメンズクラブとは違う事を実感しております。私自身が何かに貢献できるのかはわかりませんが、書記とし議事録は3日以内に作成して共有することを一年間の私のテーマと掲げて早く議事録を作成する事にこだわりを持っております。評議会、毎月の役員会の議事録は京都部全体への正確なインフォメーションの役割を担うと考えております。下半期はスケジュール管理をしっかりととして、ついうっかりを無くすように取り組んでいく所存です。



**会計 廣部 仁太郎**  
京都ウイングワイズメンズクラブ

武村部長の元、会計担当として無事に上半期を終えることができました。京都部各クラブの皆様におきましては、上半期部費を速やかに納入いただきまして誠にありがとうございました。この半年間、初めての事ばかりで、キャビネットの先輩方に頼りながらなんとか半期を走って行くことができました。キャビネットとしての活動の中で、各クラブの皆様が様々に活動されていることも知り、まだまだもっと視野を広く持たねばいけないとあらためて実感しております。今期はコロナ禍も落ち着き、動物園でのワイズデーも無事、盛大に開催されました。残念ながら所用で参加できずではありましたが、事前の説明会での山田事業主查の熱い思いを伝えようという気力に満ちたお話や、猿山での記念写真から見えてくるワイズメンの熱い団結力に感動しました。また今期の部役員は偶然にも楽器経験者が揃っており、武村部長ボーカルの元、バンド演奏が実現できたことも今期の特筆すべきことだと思います。キャビネットになった事で、一気にワイズメンの交流が広がって大変嬉しくもあり、また京都部の活動を理解するのに良い機会をいただくことができました。また優しいお人柄、決断力のある武村部長の元でキャビネットを務めさせていただけることが本当にありがたく、日々学ばせていただいております。あと残すところ6ヶ月引き続き頑張っております。よろしくお願いたします。



**事務局長 北川 雅俊**  
京都ウイングワイズメンズクラブ

本当にあっという間に半期が終わったと感じております。各クラブ会長様には膨大なメールをはじめ、沢山のお願いを申し上げましたが、京都部の皆様のご協力により何とか半期を終えることができました。本当に感謝いたします。後半も事務局長として書記と協働して、京都部各クラブと事業主查や部役員との情報のパイプ役として部全体の活性化に繋がるように務めさせていただきます。いよいよ下期に突入いたしましたが、まだまだ沢山の事業がございます。残りのワイズ活動を楽しみながら西日本区大会では、京都部が賞の総取りする勢いで京都部の凄さを見せてやりましょう!! 下期も何卒よろしくお願いたします。

## ■上半期を終えて 事業主査



**主 題** 仲間と共に、個を尊重しつつ、  
共に学び、行動し、成長しよう

YMCA サービス・ユース事業主査  
**井上 和久**  
京都ワイズメンズクラブ

事業主査としての活動が始まり、早半年となりました。クラブ入会後わずか 5 年でこのような大役を仰せつかって、最初は不安や心配ばかりで右往左往しておりました。期が始まり、毎月の部役員会に参加、8 月から各クラブの例会の部長公式訪問に随行し、部の運営や他クラブの活動の様子を肌で感じ、毎回学ばせていただくことで、少しずつ事業主査の役割、あり方ということが分かってきました。これは一重に今期の京都部役員や各クラブ会長の人間力の高さというか、皆さんが私に対して寛容に接していただいていることだと実感しております。もちろんまだまだ未熟で、学ばせていただくことが多々あります。主査として参加させていただいた今期の部会は、役員バンドとして壇上で、沢山のクラブメンバーの面前で演奏させていただき、感無量でした。コロナ禍が落ち着き、部会も以前のように、大勢で盛り上がり開催でき、本当に良かったと思えました。下半期は、各クラブの Y サ事業にも積極的にお邪魔させていただき、各クラブの事業を体感・共有したいと思っております。下半期もどうぞよろしく願いいたします。



**主 題** 楽しもう地域奉仕！  
～ 笑顔が広がる ～

地域奉仕・環境事業主査  
**山田 維久仁**  
京都 ZERO ワイズメンズクラブ

恐らく私にとっては一番希薄になっていた地域奉仕・環境事業の主査を仰せつかり、どうして安請負してしまったのだろうと期首のスタートを切りましたが、上半期が過ぎ、多くのクラブ訪問をさせて頂いたり、事業実施報告を拝見させて頂くことでワイズ活動を深く知る良い機会を頂いたと感謝しております。

上半期の主な活動と致しましては、京都部ワイズデー開催と部長公式訪問の随行でした。京都部ワイズデーは地域奉仕・環境事業を意識し、一般の方に広く PR するといった意義はございますが、一から考えていかないといけないといった、大変試行錯誤した事業となりました。ワイズデーは日本のワイズメンズクラブが初めて国際協会に加盟した記念日であること。CS 運動は、ワイズにとって社会へのワイズの活動を示す大きな窓口であり、ワイズが社会奉仕をする運動体であることを認知してもらった絶好の場であること。など、新たに学習させて頂いた事も多くございました。

2025 年に向けた「ラオスに YMCA を！」もあり、ワイズメンズクラブとも関係の深い、ラオスから 10 年前に来た京都市動物園のゾウをターゲットとした事業にしようとなりました。紅葉シーズンと重なり、多くの人が行き交う岡崎で、多くのワイズメンが集まり、動物に囚んだサーキットクイズやサル島での記念撮影で、ワイズメン一人一人の小さな力が京都部の沢山のメンバーが集まることにより、大きな波、うねりとなってワイズ活動を広く知って頂く事業になったと思います。今期主査主題としてあげた「楽しもう地域奉仕～笑顔が広がる～」から始まり、部長主題の「仲間を増やそう～ Make more friends ～」に繋がればと思います。

下半期はチャリティーボウリングがございます。西日本区 CS 資金援助申請など京都部で協力などできることがありましたらお気軽にお声がけ頂ければと思います。宜しく願い申し上げます。



主題

三方よし、みんな笑顔に！  
～ワイズよし、YMCAよし、京都よし。  
Good for everyone And.nice smile

EMC 事業主査  
**大橋 芳夫**  
京都パレスワイズメンズクラブ

何をしたらよいか分からないまま、京都部の大役を引き受け、キャビネットの方々、自クラブである京都パレスクラブのメンバー、そして、京都部の皆様のご指導のもと、部長公式訪問の随行や入会式招請により上半期ですでに大半のクラブの例会に参加し、本当は EMC 事業を教える立場である自分自身が一番勉強させてもらっていると感じています。武村京都部部長の仲間を増やそう、と言う主題のもとに、今期の京都部の各クラブにおいては積極的な EMC 事業が展開されていると感じています。11 月末の段階ですでに、入退会を差し引きした上で、29 名もメンバー数が増え、連絡主事を含めると 560 名近くの会員数となるのが出来ました。新しいメンバーが増えると、クラブの雰囲気が変わるかもしれない恐れもありますが、それ以上に、新メンバーの知識・経験がクラブの活性化させてくれると思います。変化を怖がってはクラブの進化はあり得ないと思うので、今後も積極的な EMC 事業が展開されることを期待しています。さらには、新メンバーの人脈によって更なる広がりが期待出来るので、継続的な EMC 事業も大事だと感じています。だから、EMC 事業主査の下半期の抱負としては、今後も積極的に各クラブを回り、次期に向けても、事業継続がなされていくよう啓発していくようにしたいです。更には、まだ行けてないクラブの例会にも参加し、自分の見識を深めると共に、京都部各クラブの垣根を低くすることによって交流を深め、更なる京都部の活性化に繋げて行ければ幸いです。



主題

交流こそワイズの醍醐味

国際・交流事業主査  
**市橋 清太郎**  
京都ウエストワイズメンズクラブ

8月に京都部国際・交流事業・ファンド事業懇談会を開催させて頂き、各クラブの会長・担当事業委員長様に中心に多くのメンバーにご参加頂きました。各クラブの交流活動報告やクラブファンドのアピールをして頂き、その成功体験を京都部隅々まで共有できるように務めて行かなければと再認識しました。

また、幸運にも任期中に京都プリンスクラブさんと富士山部の伊東クラブさんとの DBC 締結式に立ち会うことができました。締結に至るまで複数年に渡り親睦を重ねてこられたと思います。たまたま自分の任期中に締結式が行われただけで、当事クラブの皆様を始めとし過去の部・区役員の方々のご尽力の賜物です。自分も後々に IBC・DBC 締結に至るお手伝いを今期終えるまで少しでもできればと考えています。

部長公式訪問や各部部会の部長随行ではできるだけ普段行けない遠方のクラブ・部会に交流主査の立場からできるだけ積極的に参加しようと心がけました。交流の楽しさはやはり実際に足を運んで、顔を合わせて、会食して酒を酌み交わして得られるとこが大きいと思います。コロナ禍でそれができない期間があり特に強く感じました。自分が主査として出向いて交流を体験し、楽しんでいるところを見てもらい、また伝えることでメンバー一人一人に交流の価値を見出してもらえればと考えています。

残り下半期、交流・ファンドに関するご相談、また京都部で協力などできることがありましたらお気軽にお声がけください。引き続き宜しく願いいたします。



主  
題

広げよう、ワイズの「ワ」!

PR 委員長

藤井 功輔

京都めいぶるワイズメンズクラブ

上半期の主な事業としましては、CS・PR 合同懇談会の開催とワイズデーの運営協力がございました。CS・PR 合同懇談会では名古屋クラブの川口CS主任様も会場にお越し下さり、CS 活動についてのご講演を頂きました。当日は 50 名の参加となり、沖縄クラブ、沖縄新風クラブからは各クラブ会長様にリモートでご出席を頂き、近況をお話し下さいました。1 部の懇談会、2 部の懇親会ともに無事終わることができましたこと、改めて御礼申し上げます。ワイズデーに関しましては、山田 CS 主査をはじめとする ZERO クラブの皆様が主力となって企画、実行されました。当の私は端っこの方でお手伝いをさせて頂いたぐらいで大してお役に立ててないのですが、京都市動物園での大きなイベントに関わることができ、とても良い経験をさせて頂けたと感じております。1 年を通じての取り組みとしまして、京都部 HP のバナー広告登録数 200 件を目標にしております。上半期では 22 件の新規ご登録を頂きました。誠にありがとうございます。しかしながら目標 200 件にはまだまだ遠く、皆様のご協力が不可欠です。バナー広告登録料は 1 件当たり年間 1,000 円です。頂いた登録料は京都部 HP の管理費用をまかなうための原資となります。将来的に HP の刷新などでまとまった費用が必要になることも十分考えられますので、お一人でも多くのご登録を重ねてお願い致します。バナー広告掲載申込方法につきましても、もっと簡略化できるように考えていきたいと考えております。今後も各クラブ会長様、PR 委員長様や広報委員長様にも積極的に呼びかけをさせていただきますので、皆様是非ともご協力をお願い致します。

## 2024 年 2 月 11 日 (日) 第 3 回 京都部評議会



## ■上半期を終えて 各クラブ会長



主題

クラブの為にまず自分が楽しむ

For the good of the club, first enjoy yourself.

京都ワイズメンズクラブ  
会長代行 竹花 佑磨

今期の会長である今期会長の宮脇氏が仕事の関係で、クラブ活動を続けることが出来なくなり残念なことです。11月末日をもって、退会いたしました。1月度より宮脇氏に代わり会長代行を務めます竹花佑磨です。よろしくお願いいたします。Yサ・ユース事業は3ヵ年計画であるリトリートセンターのサポートについては、具体的な計画の詰めが甘さによりスタートが遅れ、保育園児のための「隠れ家」の製作が今期末頃になりそうです。地域奉仕環境事業では、コロナ禍が終わり、4年ぶりに「チャームの夏のキャンプ」が8月に行われ、キャンプの夕食支援活動ではコロナ禍での活動停滞が嘘のように多くのクラブメンバーの参加がありました。会員増強ではスタート月の7月に1名の退会がありましたが、11月に1名の入会がありこれから増員活動に力を注ぐときに今期会長の退会があり少し足踏みが感じられましたが、これでメンバーの危機感が強くなり今期中に数名の入会が期待できそうです。交流事業では1月27日にDBCの三島クラブが京都を訪問され、京都クラブは3月～4月頃三島クラブに訪問の予定です。今期はコロナ禍時に入会したメンバーが初めていろいろな行事に参加できワイズ活動の楽しさが理解出来たと思えますので、今後クラブ活動を通じてメンバーのより一層の団結を心掛けていきたいと思っております。



主題

継続的な発信

副題

やるからには楽しもう

京都パレスワイズメンズクラブ  
会長 安原 弘治

主題に重きを置きつつ、会員増強を促し各事業を楽しもうと半年間パレスクラブ会長を務めさせていただきました。運営することの準備、何かを変える難しさ、心配り、など仕事でも生かせる多く学びがあり、会長を務める事の責任と楽しさを経験しました。前半は例会運営でもゲスト用の次第やEMC用の案内チラシなどの充実にも努め、より例会を感じ取れる工夫をしました。入会候補者やスポンサー、EMC委員の着席場所は事前に決め、積極的に親睦を深めていました。入会候補者が例会に参加される場合は毎回2次会を設定をしましてクロージングに努めました。EMC委員会を筆頭に各メンバーの協力もあり1月第一例会の入会式で現在63名となりました。折り返し地点ですがまだまだ会員増強を積極的に励みます。広報のプリテンは全体印刷を辞めホームページからダウンロードに踏み切りました。広報委員会から見どころやコメントを発信してもらい例会会場にはテーブルに数枚程度は配ることにしました。プリテンの全体印刷を辞めることについては色々ご意見をいただきましたが昨今のペーパーレスとホームページの閲覧を促す趣旨でご理解いただきました。CS委員会はあだち福祉会という新たな奉仕先に体験型のイベントを提供。Yサ委員会は保育園に重心を置きました。ファンド事業はポテトファンドを昨年以上の売り上げと達成と物販に大変奮闘しています。交流事業はDBCの記念例会を20名ほどの人数を引き連れて絆を深められました。下半期に向けましては会員増強の手綱を緩めることなく邁進していきたいと思っております。



主  
題

～らしくあれ～

副  
題

STAY DREAM(あきらめるな)

京都ウエストワイズメンズクラブ  
会長 林 茂

当クラブの上半期の主な活動の報告です。まず、例年通り 7 月にキックオフ例会で今期が始まり、三役並びに委員長等役員の方々の所信表明があり、皆様の意欲や意識の高さが伝わる発表がありました。あと、京都部の初めての EMC 懇談会があり、出席させていただきました。武村京都部部長の主題でもある、『仲間を増やそう』では、欠かせない事業で、仲間についても、考える機会になりました。また、コロナ禍で中止となっていた富岡八幡宮例大祭（水かけまつり）というお祭りも開催され参加させていただきました。8 月は納涼例会があり、そこで入会式もあり、ワイズの一人となった樋口さんの意気込んだ挨拶を頂戴しました。それと、この日の為にと言うべき約 1 年前から習ってきたギター演奏の弾き語りを披露させていただきました。他、イベント伝達ゲーム、輪投げゲーム、スイカ割りなどを行い、みんなで、本当に楽しい時間を過ごしました。京都部国際交流・ファンド事業懇談会が当クラブの京都部国際交流事業主査 市橋ワイズ司会のもと、開催されました。各クラブの代表者に直近の IBC・DBC 活動報告や京都部で拡販したいファンド商品のアピールなどして頂き、この場においても交流されました。9 月は通常例会でしたが、私が会長に就任することが決まったときからお願いしようと思っていた、元高校校児で大学も野球をしてプロ野球選手を目指していたのに突然の事故にあい瀕死の状態から一命は取り留めたのですが、一生立てないと医者から宣告されたのに、もう一度野球でホームランを打つと言うことを実現した方をゲストスピーカーとしてお招きし、講演してもらいました。他、京都部部会メネットの集いにも参加し、加藤順子先生による「子宮頸がん講演」を聞いて参りました。そして第 28 回京都部部会があり、クラブの代表として壇上に立たせていただきました。リトセン秋準備ワークもあり、当クラブのメンバーが提供されたカツカレーがかなりの評判でした。10 月は京都部部長公式訪問があり、京都部より武村松一部長・井上和久 Y サ主査・山田維久仁 CS 主査・山下大輔次期京都部部長、そしてウエストの市橋清太郎国際交流主査 6 名が来られました。それぞれの主題に掲げられた思いや、今期事業のお話を、手際よくまとめて下さいました。あとは、例年通りポテトワークも行われメンバー同士が楽しみながら手際よく活動されました。京都 YMCA 国際協力街頭募金も河原町三条で当クラブの支援団体である平安徳義会の子供や先生たちとさせていただき、かなりの金額が集まりました。第 28 回びわこ部部会、六甲部部会、京都パレスクラブ、京都トゥービークラブ合同例会にも、いろんなメンバーが参加されました。11 月は EMC 例会が行われ、通常はゲストの方をメンバー全員で多く呼んで参加して頂いておりましたが、今回は委員長の方針で新しいメンバーの増強も必要ですが、50 人近い人数になってきたクラブですので、今一度、メンバー同士の交流を図るという目的で開催されました。その他コロナ禍で中止になっていた、ふれあいみやこまつりにボランティアのお手伝いとして物品販売をメンバーで参加しました。リトセンオータムフェスタ、チャリティランにもメンバーが参加して役割を手分けし参加させていただきました。下半期も同様に、色々なところに参加及び出席して、楽しむ事を勉強することを心がけたいと思います。



主  
題

繋ごう未来に向けて

副  
題

50年から100年へ

京都めいぶるワイズメンズクラブ  
会長 岩見 祥司

80歳を過ぎ久しぶりに2回目の会長をさせていただくにあたり、1回目の時よりも何か違う様な形のクラブ作りが出来ればと思いがスタートしたが、早半年が過ぎ下半期に突入していきました。めいぶるクラブのキックオフ例会は7月第2例会総会は事業計画・予算と承認を頂き本格的な40期スタートです。

8月第1例会は恒例の納涼例会。「料理処 長島」にて開催。ゲスト2名も参加頂き2名共入会となりました。第2例会は武村部長公式訪問例会、9月第1例会は京都部部会、第2例会は支援先を招いての支援金の贈呈式と近況報告をしていただき、10月第1例会はジャガイモ例会、11月第1例会はワイズデー、第2例会は40周年記念例会準備例会をいたしました。12月は多くのコメントやマゴメットが参加しクリスマス例会をし、楽しいひと時を過ごせました。慌ただしい上半期を終え、下半期はメインでもあるめいぶる40周年記念例会を迎えます。現在メンバー全員がこの周年例会の準備に取り組んでおり、また、在京ワイズメンも200名近い出席をいただく予定で進めております。そのためには現在のメンバーを30名にする予定で頑張っておりますので、ぜひメンバーの皆様にもメンバー増強にご協力いただくことをお願いしております。

吉本40周年実行委員長の基、この記念例会を成功させたいと思っております。下半期も宜しくお願い致します。



主  
題

Update Capital Spirit and Y's Spirit

副  
題

～ 私たちが輝き続ける為に～

京都キャピタルワイズメンズクラブ  
会長 椿森 昌史

今期も早や半年が過ぎました。新型コロナウイルス感染症による外出自粛要請が解消されたことで、やっとストレス無く外出できる雰囲気に戻って、例会や事業の出席率も高くなっています。また、1月に2名、6月に3名、11月に1名の新メンバーが誕生し、クラブ内の雰囲気も明るく楽しいものになっており、その良い雰囲気をそのまま、キャピタルクラブ創立40周年記念例会にて、皆さまにお伝え出来たかと思えます。ご参加いただき記念例会を盛り上げていただいた沢山の方々に感謝するとともに、これからも一緒にワイズメンズクラブを盛り上げて行こうと思っております。また、周年のアクトとして、リトセン便所の塗替え、ユニポの寄贈をさせていただくことができました。ほかに上半期の報告としては、YMCAによるリトセンワーク、オータムフェスタ、京都部ワイズデーへの参加のほか、クラブ内事業として、グルメ同好会、誕生日会、釣り同好会、ゴルフ同好会等にて、メンバー同士の懇親を図ったり、キャピタル企業塾という事業にて、メンバーに自身の企業の沿革や、今日に至るまでの苦労話、成功談などを報告してもらい、お互いを深く知ることで、協力し合える強い絆をもった関係を目指しています。下半期は、1月の和歌山旅行でさらに懇親を深めて、2月にはYMCAおそろぎと共に、京都視覚障害者協会の方々とのおちご狩りや、5月には様々な施設の方々と一緒に楽しむお祭り、メタセコイアフェスティバルを実施する予定です。ほかにもYMCA事業への協力、他クラブとの合同例会や他クラブの周年記念例会に沢山のメンバーで参加するとともに、この良い雰囲気を次期に繋いでいく予定です。



主題

温かく、楽しい1年を、みんなで。

京都プリンスワイズメンズクラブ  
会長 榎木 徳子

○上半期活動について（主なもの）

（Yサ）

- ・「Get Outside」企画として、野外で奉仕する活動を計画。リトセン夏季準備ワークとして、サバエ炊事棟（プリンス周年事業で寄贈）移設工事の大詰めとなる屋根工事を実施。リトセン秋季ワークでは薪割りワーク。
- ・「青い空と白い雲のキャンプ」にて、昼食の提供。
- ・チャリティラン協力。

（交流）

- ・東日本区富士山部伊東クラブとのDBC締結。締結式翌日のゴルフと観光は悪天候のため中止になったが、今後も息の長い交流を続けていきたい。
- ・DBCクラブである東広島並びに東京サンライズとの交流。
- ・グローバルクラブ・ウエルクラブとの3クラブ合同例会。DJ 谷口キヨコ様の軽妙な語りと、ホストのグローバルクラブ様の心のこもったテキパキとした運営に感謝。

（CS）

- ・ワイズ・デーへの参加。
- ・ののさん（子どもシェルターを運営するNPO法人）応援チャリティゴルフの実施。ファンド・スイカ・ブドウ・ジャガイモ・蕎麦ファンドを実施。

○下半期に向けて

会長として他クラブとの交流の機会が増え、他クラブのプリテンも全部（真面目に）目を通すことにより、京都部はもちろん、DBC締結を機に交流ができた東日本区のクラブなど、それぞれ活動に特長がある事を知ることができた。その経験を活かし、下半期は新メンバーの獲得に向けて皆であたっていききたいと思う。また、プリンスクラブ独自の取組のひとつである「スポーツフェスティバル」の開催に向けて準備を進めていきたい。



主題

## 未来への架け橋

京都ウイングワイズメンズクラブ  
会長 山田 祐輔

### ☆YMCA サービス事業

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 7/2 リトセン夏季準備ワーク参加         | 8/19.20 青い空と白い雲のキャンプ参加       |
| 9/3 リトセン秋季準備ワーク参加         | 10/29 国際協力募金参加               |
| 11/5 リトセンオータムフェスタ参加       | 11/17 YMCA/YWCA 合同祈祷週プログラム参加 |
| 11/26 インターナショナルチャリティーラン参加 | 12/22 市民クリスマス参加              |

### ☆CS 事業

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 11/12 ワイズデーの参加と支援       | 11/23 リ・ブラン京都バザー参加と支援  |
| 12/10 成望館の支援（ふれあい祭りは中止） | 12/17 マリアの会クリスマス会参加と支援 |

### ☆その他

京都部部会のホストと参加、トップス・ウイング合同例会の実施、ワイズ塾の開催

上半期は、実行委員長以下、メンバーの協力のもと京都部部会のホストクラブとして、役目を全うできました。奉仕活動としましては、コロナ以降、参加出来なかった事業も少しずつ開催されるようになり、奉仕クラブとしての実態も取り戻しつつあるように思います。

下半期は、新たな支援先や、事業を検討していきながら、今期予定されている事業に取り組んでいきたいと思えます。また、引き続き合同例会や、ワイズ塾の開催も予定しておりますので、クラブ内、やクラブ間の親睦を深め、京都部を盛り上げて行きたいです。

あと残すところ半期となりましたが、全力で頑張りますので、ご支援の程、何卒よろしくお願ひいたします。



主題

## 前へ 前へ

副題

## ～ 洛中は、まだまだこれから～

京都洛中ワイズメンズクラブ  
会長 西村 和真

洛中クラブの36期上半期が終わり振り返りますと、ほぼ私の思い描いていた通りに実行出来たのではなかと感じております。数年参加してこなかった「リトリートセンター」の開設ワークに始まり、8月には3名の新しいメンバーを迎えることが出来ました。そして「児童養護施設 つばさ園」のリトリートセンター日帰りキャンプを8月末に行い、新しいメンバーも参加してくれたことで、洛中クラブの事業を理解してもらえる良い機会となりました。交流事業におきましても、「DBC 富士五湖クラブ」との充実した交流をもつことができました。

また12月に2名の新しいメンバーを迎えることが出来、期初の目標である5名の増員を達成しました。

さて、下半期の抱負ですが、新年例会を親クラブである京都ウエストクラブさんと合同で開催します。この例会での交流は新メンバーにとって非常に重要と考えております。私自身そうでしたが、他クラブの方々との交流は、ワイズを理解し、楽しむことに不可欠なことだと思っております。そのあとの例会では1名の入会式も決まっております。大変うれしいことですが、新しいメンバーが本当の意味で「洛中クラブの一員」になれるよう下半期は考え、実行する期間としたいと思います。そして次期に良い形で引き継げることを目標にメンバー一丸となって、頑張り、楽しい下半期にしたいと思います。皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。



主  
題

「どうするエイブルクラブ」

副  
題

「みんなで考えよう」

京都エイブルワイズメンズクラブ  
会長 砂地 一廣

34期のエイブルクラブのキックオフは引継例会の山根弘丈直前会長の決意表明で盛り上がりました。それは「35周年に向けてすでにメンバーを30名にする」でした。本気でやればできないことはないと言われました。あとは新クラブが出来る時のような活気で、本気の連鎖が大きく広がりました。こんな経験はチャーターナイト以来です。7月2名の入会、8月4名入会、10月3名入会、12月1名入会と前期でなんと10名の増員となりました。今期の標語は「どうするエイブルクラブ」ですが、さらに会員拡大をめざし、されど退会者を出さず、会員育成に全力で取り組む必要があります。副題の「みんなで考えよう」を実践すれば内容があるエイブルクラブが再生できることは間違いありません。1986年にキャピタルクラブに入会以来、38年、3度目の会長を経験させて頂いていますが、人生ながくやっているものと見えてくるものがありますね。さあ後半は何が見えるかみんなで予想したいと思います。楽しい例会で親睦第一、出席第一で無理をしないでマイペースで「あれ」をめざして精進いたしますので、どうぞ宜しく願い申し上げます。



主  
題

時代に応じたクラブへ

副  
題

今出来る奉仕をしよう

京都グローバルワイズメンズクラブ  
会長 寺久保 吉雄

今期は、新しいメンバーを役員に選出しスタート。アフターコロナの新しいクラブを模索して参りました。まず楽しさを最優先したクラブを目指しながらも規律あるクラブ。例会時間始まり、終わり2時間厳守。喫煙退出禁止。ワイズソング、YMCAの歌、グローバル宣言唱和を必ず実行する。半期が終わり以前のクラブの良い所が戻ってきたと感じています。本来なら例会欠席の際は、メイキャップが必要であるのですが、中々浸透せず例会出席率も上がりません。曖昧であったところを「会費・会則・文献保存委員会」を発足させ、メンバーに理解を求めながら進んでおります。ドライバー委員会を中心となり毎回新しい企画で例会を盛り上げていただいております、お金をかけて講師を呼ぶより、メンバースピーチの方がより親密度が上がり好評だったことに、足元を見ることの大切さも感じました。私自身も毎回例会1～3人ゲストに呼び続けてお陰様で今期6名入会していただきました。感謝です。今まで仕事柄行けなかった様々な事業も会長職を務めたおかげで参加出来ました。また他クラブの会長や京都部の役員や西日本区役員の皆様との交流の中で、他クラブの考え方や、クラブ規約や、運営などをご教授いただき大変な刺激をもらいました。2月21日の例会には、YMCA理事長などを招きご講演いただき、「ワイズメンズクラブとは」をもう一度メンバー全員で正しく共有出来るように努めて参ります。



主  
題

今を未来につなげる

副  
題

Sustainable Operation

京都トップスワイズメンズクラブ  
会長 石田 博紀

京都トップスワイズメンズクラブの会長として、半年間が経過し、この機会に報告と今後の意気込みを共有させていただきます。初めての経験となる会長としての役割は、多くの学びと挑戦をもたらしており、皆様のご協力とサポートに感謝しております。

会長主題である「Sustainable Operation（持続可能な運営）」と副題「今を未来につなげる」を胸に、発展と社会への貢献を追求してまいりました。以下、各委員会の活動について報告させていただきます。

Y サ委員会では、多くのメンバーに参加いただけるよう、事業ごとに丁寧な説明を行いました。これにより、より多くのメンバーが積極的に参加し、クラブの活動への関与が高まりました。

CS 委員会は、支援先の要望に応じたサポートを実現するため、コミュニケーションを重視して活動しています。支援活動がより有意義なものとなるよう、引き続き協力してまいります。

EMC 委員会では、新たな入会者の受け入れ準備を進めており、今後の半期でも会員増強に注力します。新たなメンバーがクラブに参加することで、新しいアイデアとエネルギーがもたらされることを期待しています。

交流委員会は、締結先との緊密な関係を築き、情報交換を活発に行っています。30周年を迎えるにあたり、台湾のクラブの皆様を招待する準備を進めており、国際的な交流を大切にしています。

ファンド委員会は、半期の数字が目標に達していないことに取り組み、残りの半期でも努力を続けています。経済的な面でもクラブを支え、持続可能な運営を実現するために力を注ぎます。

ブリテン広報委員会は、スムーズなブリテン発行を実現しましたが、課題も残っています。より効果的な情報発信を目指し、改善に取り組む予定です。

ドライバー委員会は、多忙な運営に挑戦しましたが、後半も CATT+F 合同例会のホストを務める準備を進めています。円滑な運営を実現するために、引き続き努力を惜しまない所存です。

30周年実行委員会は、4月の周年例会に向けて準備を進めており、各事業委員会と連携しながら、素晴らしいイベントを実現させるために努力しています。

最後に、この半年間を通じて、会長としての新たな経験や学びがありました。皆様と共に歩むことで、さらに成長し、クラブをより良い方向に導くことができると確信しております。後半期も皆様のご支援と共に、持続可能な運営と未来へのつながりを築いてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



主  
題

## Let's Have Fun

副  
題

### 想いは家族の為に、 行動は自分の為に！

京都トゥービーワイズメンズクラブ  
会長 **渡邊 聡**

会長を受ける事が決まってから楽しみと不安が入り混じっていましたが、あっという間に半年が過ぎていった感じです。今は5年後の自クラブをイメージしながら出来る事を楽しんでいます。

我々が楽しくクラブ活動が出来るのも家族の理解があつての事で、今期はたくさんの家族に参加してもらって自分達と一緒に楽しむ年にしたいと考え、役員はじめメンバーが例会及び事業に携わってくれている事に感謝します。

8月の納涼例会に沢山のメネット・コメット・ゲストが参加し、蒸し暑い夜でしたが冷たいアルコールを飲みながら会話が弾みました。

クリスマス例会は40名を超える出席があり、バイオリン演奏とマジックを見て子供たちは喜んでいました。

5月のファミリー例会も沢山の家族に参加してもらって遠方へお出かける予定です。

今期は4つの合同例会をします。

上期1つ目はパレスクラブさんと、2つ目はグローバルクラブさんと最優秀クラブの同時受賞祝賀会をしました。

1月中旬には昨年チャーターしたブラッククラブさん・ZEROクラブさんと合同例会を行います。

各々個性豊かなクラブと一緒にTOBEクラブも活性化できればと思つての企画です。

4つ目は毎年恒例の大阪なかのしまクラブさんとの合同例会は4月の予定です。

2月にリトセンでおこなう「真冬の大焚火フェスタ」をTOBEクラブが手伝わせていただくことになり楽しい企画を考えていますのでお楽しみにして下さい。

新年早々にIBC先のA-LISTクラブさんが20周年の為にクラブから5名が参加、台湾で大阪泉北クラブの皆さんと一緒にお祝いと親睦が出来きました。

自分達だけが楽しいのではなく、ゲストにも参加していただきワイズメンズクラブの楽しさを発信し、新しいメンバーが増えていくように活動していきます。

あと6ヶ月しかない会長期を楽しみたいと思っています。



主  
題

## 地域と共に飛躍する東稜

副  
題

### 最高で忘れられない20周年

京都東稜ワイズメンズクラブ  
会長 栢本 和佳

あっという間の半年間

それがぴったりの半期の活動でした。東稜クラブ恒例の祇園清掃活動から会長としての責務がスタートしました。他クラブ様、ボランティアの皆様と交流を交えながら二日間清掃活動を行いました。

祇園祭もコロナ前のように活気溢れており、私たちも意欲的に活動する事ができ、会長としても誇らしかったです。続いて 8 月も四ノ宮祭の清掃活動を行い、同じように活気ある中で行うことができました。9 月には京都部会。あっという間にやって来たな、しかし変な緊張はなく望む事が出来ました。それもやはり、周りの同じ会長の皆様が良い雰囲気を作りをしてくださったからです。環境の恵まれているなど心から想えた京都部会でした。

その後の活動は黒豆ファンド、異業種クリーン活動、キャピタルさんの 40 周年、オータムフェスタ、3 クラブ合同例会そしてワイズデーと活動を休む事無く走ることが出来ました。どの活動も東稜メンバーを巻き込み、私自身も楽しみながら行う事で、よりワイズメンズクラブへの理解度が深まりました。

残り半年間も変わらず活動の足を留めず、奉仕の精神と共に飛躍していきます。



主  
題

## STAY GOLD

副  
題

### いつまでも輝き続けるクラブで

京都ウェルワイズメンズクラブ  
会長 湧田 泰一

2023 年の 7 月より京都ウェルクラブの会長に就任させて頂き、早くも半年が経ちました。分からないことも多くありましたが、クラブの皆様を支えて頂きなんとかやってこれました。コロナ禍も終わり、対面で皆様と例会や野外活動を行えたことも、とても嬉しく思っております。

特に京都部部会で、初めてバナーセレモニーを行ったことが印象に残っています。その他、会長になったことで様々な場面で皆様の前に立ってお話しさせていただくことが増え、良い経験になっています。他のクラブの方との交流も増えよりワイズ活動が楽しくなりました。

会長に就任した際に目標としておりました、新しい事業の取り組みはまだ出来てはおりませんが、クラブメンバーも少しずつですが増えてきており、さらに大きな事業ができそうだと楽しみに思っています。

会長としての残り期間は半年となりましたが、しっかりと活動をしていきます。未熟な私ですが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

下期の目標としてはまずは自分自身が後悔のない様にワイズ活動を行っていきます。

メンバー数の増強も目標にしているので 1 人でも多くメンバーを増やす例会をメンバーで企画していきます。また、増やすだけではなく辞めていくメンバーが出ないように例会などに参加をしやすい環境づくりにも力を入れていけるように意識します。

残り半年と期間は少なくなりましたが最後に湧田が会長で良かったと思って貰えるように努力しますので何卒よろしくお願いいたします。



主  
題

笑顔で！

副  
題

～あなたがワイズメンであることの  
意味と誇りの確認を！～

京都 ZERO ワイズメンズクラブ  
会長 西村 寛子

今期は会員各自が自身が入会したワイズメンズクラブの意味・本質を再確認し、自己研鑽と他者への思いやりを持っての活動が出来るようにと会員に呼び掛けてきた。

クラブ内充実を目指しメンバー間の交流をしっかりと果たし、来る 15 周年に向けて強い結束のあるクラブを作りたいと努めてきた。月 2 回の例会の内容運営もその方針に即したものを計画、「学びと楽しみ」のある例会を心掛けてきたつもりであるが、メンバーの多くが年齢的に仕事が最も充実する年回りということもあって、例会そのものへの出席率が伸び悩んでおり下半期への課題となっている。

一方、Yサ・C S等の事業への積極的な取り組みと参加はなされており、クラブ内交流を目指す EMC 事業も順調に進んでいる。下半期もこの調子での各委員会の企画運営に期待したいところである。

下半期では、上半期に見えてきた課題に取り組み、解決しつつ更なる活動の充実とメンバー親睦を深めていきたいと考えている。

クラブメンバーの平均年齢も随分好ましい方向に振れて来ているので、若い世代に徐々にバトンタッチを進めていき「若さと活気あふれる ZERO」を目指していきたいと思っている！



主  
題

やってみよう♪

副  
題

みんなが自然と笑顔になれる空間に  
～Everyone can smile naturally～

北京都フロンティアワイズメンズクラブ  
会長 丸山 拓哉

早いもので半年が経過しました。イレギュラーなことが起こり、バタバタでスタートした年度でしたがやっと落ち着きを取り戻しております。7月には2名の新入会員を迎えることができました。12月には、当クラブの大きな地域奉仕事業であります、「第4回 YMCA 杯学童野球大会」を開催しました。第4回目で徐々に地域に浸透してきた大会となり、7チームの参加のもと無事に開催することができました。寒さを吹き飛ばす子供たちの一生懸命なプレーに感動しました。

新型コロナも 5 類に移行し、会員の毎月の例会への出席も増えて参りました。また例年の行事であります、舞鶴 YMCA 国際福祉専門学校の生徒の就職に向けた模擬面接にも参加させていただきました。また本年は、韓国人留学生の生徒たちを例会に招待し、送別会を企画して楽しく交流をしました。

下半期は舞鶴で開催される大型ロックフェス「PLAY BACK FES MAIZURU」にもなんらかの形でお手伝いすることになり、せっかくの機会ですので関わる方たちにとって最高の思い出が作れるように取り組んで参ります。そして次年度がスムーズにスタートできるように、引継ぎをしっかりと行います。

主題である「やってみよう♪」の精神で、深く考えすぎずとにかく楽しく行動をして、今日よりも明日がよくなるように取り組んで参ります。今後とも宜しくお願い致します。

主  
題

## Lead To BLACK

副  
題

何事にもブレることのない活動を、  
力強いクラブを目指す

京都ブラックワイズメンズクラブ  
会長 木代 路万

早いもので一年半です。各種の例会及びチャリティーにはメンバー一同積極的に参加させていただいたと自負しております。少しずつだけど仲間も増えてきて、ワイズメンズクラブのことを少しずつだけ理解してきたという自負も芽生えてきております。8月には「地藏盆を復活させよう」というコンセプトの元、立成小学校跡地で夏祭り例会を開催いたしました。いろいろな方にご迷惑をお掛けしながらも「ええ企画やったね」とお声掛けいただいたことは今でも嬉しくて覚えています。下半期はもっと僕らの色を出していければと思っています。

「みんなが西に走る時、オレ達は東へ走る根性で、もっとオモロイことをやるのも人生やるよ」という我々の双六人生もついにアガりに近づいてまいりました。色々な仲間がいる。言うこときかないピットブルや、15人兄妹の長女みたいなやつ、惚れっぽい保険屋や、売れない漫才師やらスポーツ万能の選暦までもが分け隔てなく集まって、真剣に会議したり、飲んで歌って踊ったりしている。スゴいことやと思います。今日はやめておこうかな、でもいてもたってもいられない。家族にはまた集まりかいなどドヤされるし、今月は財布も寒い。それでも嫌にならないのはなぜか、毎回顔を出したくなる、やっぱり楽しいと感じれる場所。それがシアワセを生むために必要なクラブだと思う。

「仁義なくせばこの街がすたる、この街がすたれば人情もすたる。」と誰かが問うたが、我々はコレを地で知っているんだと思います。いわば目的のなかった人にそこに関わりたいと強く思わず「場」をつくることで、知ってる人も知らない人も思わず覗き込みたくなるようなヴィジョンと表情と活気があるクラブに。そう、100年続けてこられたワイズメンズクラブの誇りを胸に、いわゆる伝説を目指し、世界を揺るがしてやろうと思っています。

主  
題

## ワイズの活動を楽しむ！

副  
題

Reestablish Y's Ties  
～ワイズの絆の再構築～

沖縄ワイズメンズクラブ  
会長 手登根 正

沖縄では桜のつばみが開き、一足早い春の季節を迎えております。沖縄クラブがチャーターナイトを迎えて早くも一年の月日が過ぎました。会長主題として掲げた「ワイズの活動を楽しむ！」を進めるために、例会で多くの意見を取り入れて実行していくように努めてきました。しかしながら、なかなか思い通りにはいかないものと感じる出来事もありましたが、何よりも、DBCを今後締結することを見据えて、熊本ジェーンズクラブとの交流会を、京都トゥーピーワイズメンズクラブ青木ワイズの橋渡しにより沖縄で開催できたことが、何よりも嬉しいことでありました。合わせて、部長公式訪問で武村部長並びに京都都役員の皆様に、ご来沖をいただきましたことも記憶の残るところです。さて、下期の抱負ですが、毎月の例会を滞りなく、かつ楽しくワイズ活動を進めてゆくことをして参ります。「ワイズ活動を楽しむ」ことの本質をさらに追い求めていきながら、会員を増やすことにも努めて、沖縄でのワーズダムを広めていきたいと考えております。具体的には、沖縄ならではの特性を生かした活動として、チャリティーを兼ねたビーチでのBBQパーティを開催して、ワイズダムを知らない皆さまとの交流を図ります。また、地域の子どもに対してもアプローチを模索しております、従前から討議を進めています「移動図書館」の実現に向けた活動をすすめるながら、「ヤングケアラー」などの諸問題にもかかわりをもち、子どもたちを助けるお手伝いができる方向を探して参ります。下期も会員が丸となり活動をすすめてまいります。



主題 沖縄からワイズの新しい風を!

沖縄新風ワイズメンズクラブ  
会長 金武 朝成

今季は前年に引き続き会長統投にて取り組んでおります。現状、新しい会員を増やせずに苦戦している状況でもあり、歯がゆい所です。沖縄 YMCA との関わりも、まだまだ薄く、会員として会費を払う以外に貢献できていないのも現状です。親クラブである、沖縄クラブとともに、新しい取り組みを模索しているのですが、新しい風を起こすにはまだまだ届かないという状況もあります。

書いていると弱気になってしまいますが、気持ち的には若い世代へ、より良い環境を作っていく事に迷いはありません。沖縄クラブとの連携での離島へ絵本を届けるという様な事業にも積極的に関わりながら、沖縄新風クラブも提案していきたいと思えます。

まだまだ、新風クラブのワイズメンの力もまだまだ発揮されておらず、能力を持って余している状況にあります。人員を更に増やし、力を発揮できるような環境へ向けて動いていきたいと思えます。まずは、周りへワイズメンズクラブの事を伝えていく事から始めていきたいと思えます。

京都部上期 PHOTOGRAPH



# 京都部上期 PHOTOGRAPH



